令和3年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-公演団体一覧【Aブロック】

【C区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目/企画	複数年度実施
				小（低）	小（中）	小（高）	中			
A・B・C	演劇	児童劇	劇団たんぽぽ	○	○	○	－	メニューはお話 『おはなしレストラン』	『おはなしレストラン』 原作/ブレーメンの音楽隊・おおきなかぶ 脚本/宮田恵紀子　演出/村岡由美子 音楽/村岡由美子　衣装・美術/柿平衣名美 照明/真野亮文	
A・D	伝統芸能	演芸	パントマイム＆クラウン 「劇団汎マイム工房」	○	○	○	○	あらい汎の「マイム・ひとり旅」	あらい汎の「マイム・ひとり旅」 構成・演出　あらい汎	
A・C・G	メディア芸術	映像	こども映画教室	－	○	○	○	映画鑑賞+映画制作ワークショップ 「生きていないものが動く！」 ～体育館が映画館に！ みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう！～	～“映画を観ている「私」”を感じ、映画に対して「私なりの考えを持つこと」や「自分なりにその映画をうけとり、自分たちの頭の中で映画を作り出す～名作映画の鑑賞，作品制作を通して発想力を引き出し，芸術鑑賞能力を育むワークショップ企画です。 1日目【ワークショップ】映画『赤い風船』鑑賞・グループワーク →【メインプログラム】撮影・編集ワークショップ 2日目【ワークショップ】作品発表・鑑賞・講評	

【A区分・B区分団体】

A	音楽	合唱	新国立劇場合唱団	○	○	○	○	文化芸術による子供の育成事業 特別合唱コンサート	童歌「ほたるこい」（女声合唱） 民謡「ソーラン節」（男声合唱） ワーグナー作曲「さまよえるオランダ人」より　糸紡ぎの合唱（女声） ウェーバー作曲「魔弾の射手」より狩人の合唱（男声） ヴェルディ作曲「椿姫」より　乾杯の歌（混声）等	
A	音楽	オーケストラ等	群馬交響楽団	○	○	○	○	オーケストラの魅力大発見！ 一緒に歌おう・奏でよう！！	ロッシーニ／歌劇《ウィリアム・テル》序曲 から 「スイス軍の行進」 （共演コーナー）※下記a～dより選択 a・合奏　スーザ／星条旗よ永遠なれ　等 b・合唱 c・一緒に歌おう 「となりのトトロ」から さんぽ等 d・指揮者体験コーナー 校歌、ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番、ビゼー／歌劇「カルメン」　等	
A	音楽	オーケストラ等	東京フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	○	オーケストラ公演 ＜東京フィルがやってきた！＞ ～カラダで音楽！～	（小学校） ♪ロッシーニ：歌劇『ウィリアム・テル』より “スイス軍の行進” ♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番　他 （中学校） ♪ロッシーニ：歌劇『ウィリアム・テル』より “スイス軍の行進” ♪ロジャース&ハマースタイン： 「サウンド・オブ・ミュージック」よりドレミの歌 他	R1 （継続）
A	演劇	児童劇	劇団仲間	○	○	○	○	舞台劇　小さい“つ”が消えた日	「小さい“つ”が消えた日」 原作：　ステファノ・フォン・ロー（三修社刊） 脚本／演出：　鈴木雄太 音楽：　芳賀一之	
A	演劇	児童劇	人形劇団　ひとみ座	○	○	○	－	人形劇「9月0日大冒険」	人形劇「9月0日大冒険」 原作／さとうまきこ「9月0日大冒険」(偕成社) 脚本／大西弘記(TOKYOハンバーグ) 演出／中村孝男　　美術／小川ちひろ 音楽／庄子智一　　音響／遠藤宏志(アコルト) 照明／石川哲次	
A	演劇	演劇	一般社団法人演劇集団ワンダーランド	○	○	○	○	現代演劇に参加する喜び	「からくり儀右衛門―日本のエジソン・技術で明治維新を創った人々―」 脚本・演出/竹内一郎 作曲/西村勝行 振付/福島桂子	
A	演劇	ミュージカル	劇団ポプラ	○	○	○	○	歌って、踊って　ミュージカル 『オズの魔法使い』	ミュージカル「オズの魔法使い」 原作/L・Fボーム　作曲/本間裕治 脚本/木島恭 演出/木島恭　　振付/橋本のり子	
A	舞踊	バレエ	バレエシャンブルウエスト	○	○	○	○	くるみ割り人形 （巡回公演スペシャルバージョン）	「くるみ割り人形」等 原作：E.Tホフマン 作曲：P.Iチャイコフスキー 演出・振付：今村博明　川口ゆり子	
A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	萬狂言	○	○	○	○	狂言鑑賞教室～狂言って面白い！～	【小学校・中学校 共通】 ■狂言「柿山伏」 ■狂言「附子」 【中学校のみ】 ■語「奈須与市語」 ※一部抜粋	
A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人　大槻能楽堂	○	○	○	○	発見！能は面白い！ 能「紅葉狩」で能楽体験	■短縮版　能「紅葉狩」 等	
A	伝統芸能	人形浄瑠璃	江戸糸あやつり人形結城座	－	－	○	○	江戸糸あやつり人形の世界 ～江戸文化を楽しもう！～	『寿獅子』 『伊達娘恋緋鹿子　火の見櫓の場』原作 河竹黙阿弥/義太夫 竹本素京 『東海道中膝栗毛～赤坂並木から卵塔場まで～』 原作　十返舎一九/作詞・作曲　富士松魯中(新内節)/弾き語り　新内多賀太夫 構成・監修　十二代目結城孫三郎	
A	伝統芸能	邦楽	邦楽囃子方集団　若獅子会	○	○	○	○	打てや、囃(はや)せや、邦楽囃子(ほうがくばやし)! ～ようこそ！お囃子(はやし)の世界へ～	■儀式音楽：『一番太鼓』『着到』/『若獅子三番叟』 ■邦楽囃子解説　お囃子が描く日本の昔話、その名も「若獅子桃太郎」 ■ワークショップ体験発表コーナー ■児童・生徒全員体験 ■「邦楽囃子のみによる〈囃子組曲〉」『勧進帳』『鏡獅子』等 監修：茂手木潔子（上越教育大学名誉教授/日本音楽研究者）	
A	伝統芸能	演芸	公益社団法人日本奇術協会	○	○	○	－	夢と希望の創造空間 Magic　of　MAGIC－Compilatuon―	1.「ダブマジック（鳩）」 2.「マニュピレーションorゼネラルマジック」 3.「おしゃべりマジック」 4.「生徒代表による演技」 5.「和妻」 6.「イリュージョン」	

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策については，実施決定後に令和3年4月以降の状況及び令和3年度予算等を勘案し，文化庁(事務局)，実施団体，実施校間において，必要事項を検討・調整の上で実施予定です。このため，各企画の出演希望調書では通常規模の公演を想定した企画内容を記載しています。

※複数年度実施欄に「R1」の記載がある団体は令和元年度から，「R2」の記載がある団体は令和2年度から，「R3」の記載がある団体は令和3年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.htmlから、団体のホームページや現在実施されている令和2年度の情報を閲覧することができます。

		C区分団体			A・B区分団体												
		K437	K1326	K1402	A108	A224	A1601	A416	A425	A502	A606	A701	A908	A925	A1001	A1114	A1316
		劇団たんぽぽ	パントマイム＆クラウン「劇団汎マイム工房」	こども映画教室	新国立劇場合唱団	群馬交響楽団	東京フィルハーモニー交響楽団	劇団仲間	人形劇団ひとみ座	一般社団法人演劇集団ワンダーランド	劇団ポプラ	バレエシャンブルウエスト	萬狂言	公益財団法人大槻能楽堂	江戸糸あやつり人形結城座	邦楽囃子方集団若獅子会	公益社団法人日本奇術協会
巡回ブロック		A/B/C	A/D	A/C/G	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
種目		児童劇	演芸	映像	合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	人形浄瑠璃	邦楽	演芸
前日仕込みの有無		なし	なし	あり	あり	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
6月1日	火	○	●				○	○	○							●	
6月2日	水	○	○				○	○	○								
6月3日	木	○	○				○	○	○								
6月4日	金	○	○				○	○	○								
6月5日	土																
6月6日	日																
6月7日	月	○	○				●	○	○								
6月8日	火	○	○				●	○	○								
6月9日	水	○	○				●	○	○								
6月10日	木	○	○				●	○	○								
6月11日	金	○	○				●	○	○								
6月12日	土																
6月13日	日																
6月14日	月	○	○					○	○					○		●	
6月15日	火	○	○	○				○	○					○		○	
6月16日	水	○	○	○				○	○					○		○	
6月17日	木	○	○	○				○	○					○		○	
6月18日	金	○	○	○				○	○					○		○	
6月19日	土	●															
6月20日	日										●						
6月21日	月		○	○				○	○		○		●	○		●	
6月22日	火		○	○				○	○		○		○	○		○	
6月23日	水		○	○				○	○		○		○	○		○	
6月24日	木		○	○				○	○		○		○	○		○	
6月25日	金		○	○				○	○		○		○			○	
6月26日	土																
6月27日	日										●						
6月28日	月		○	○				○			○		●				
6月29日	火		○	○				○			○		○				
6月30日	水		○	○				○			○		○				
7月1日	木		○					○			○		○				
7月2日	金		○					○			○		○				
7月3日	土																
7月4日	日	●															
7月5日	月	○	○	○				○						○			
7月6日	火	○	○	○				○						○			
7月7日	水	○	○	○				○						○			
7月8日	木	○	○	○				○									
7月9日	金	○	○	○				○									
7月10日	土																
7月11日	日																
7月12日	月	○	○	○				○					●				
7月13日	火	○	○	○				○					○				
7月14日	水	○	○	○				○					○				
7月15日	木	○	○	○				○					○				
7月16日	金	○	○	○				○					○				
7月17日	土																
7月18日	日																
7月19日	月																
7月20日	火	○					○										
7月21日	水	○					○										
7月22日	木	○					○										
7月23日	金	○					○										
7月24日	土	●															
7月25日	日																
7月26日	月																
7月27日	火																
7月28日	水																
7月29日	木																
7月30日	金																
7月31日	土																
8月1日	日																
8月2日	月																
8月3日	火																
8月4日	水																
8月5日	木																
8月6日	金																
8月7日	土																
8月8日	日																
8月9日	月																
8月10日	火																
8月11日	水																
8月12日	木																
8月13日	金																
8月14日	土																
8月15日	日																
8月16日	月																
8月17日	火																
8月18日	水																
8月19日	木																
8月20日	金																
8月21日	土																
8月22日	日																
8月23日	月																
8月24日	火							○									
8月25日	水							○									
8月26日	木							○									
8月27日	金							○									
8月28日	土																
8月29日	日																
8月30日	月							○	○							●	
8月31日	火							○	○							○	
9月1日	水							○	○					○		○	
9月2日	木							○	○					○		○	
9月3日	金							○	○					○		○	
9月4日	土																
9月5日	日																
9月6日	月			○				○	○							●	
9月7日	火			○				○	○							○	
9月8日	水			○				○	○							○	
9月9日	木			○				○	○							○	
9月10日	金			○				○	●							○	
9月11日	土																
9月12日	日																
9月13日	月			○	○		○	○	●				●	○		●	
9月14日	火			○	○		○	○	○				○	○		○	
9月15日	水		●	○	○		○	○	○				○	○		○	
9月16日	木		○	○	○		○	○	○				○	○		○	
9月17日	金		○	○	○		○	○	○				○	○		○	
9月18日	土																
9月19日	日																
9月20日	月										●						
9月21日	火		○		○			○			○						
9月22日	水		○		○			○			○						
9月23日	木																
9月24日	金		○		○			○			○						

		C区分団体			A・B区分団体											
		K437	K1326	K1402	A108	A224	A1601	A416	A425	A502	A606	A701	A908	A925	A1001	A1114	A1316
		劇団たんぽぽ	パントマイム＆クラウン『劇団汎マイム工房』	こども映画教室	新国立劇場合唱団	群馬交響楽団	東京フィルハーモニー交響楽団	劇団仲間	人形劇団ひとみ座	一般社団法人演劇集団ワンダーランド	劇団ポプラ	バレエシャンブルウエスト	萬狂言	公益財団法人大槻能楽堂	江戸糸あやつり人形結城座	邦楽囃子方集団若獅子会	公益社団法人日本奇術協会
巡回ブロック		A/B/C	A/D	A/C/G	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
種目		児童劇	演芸	映像	合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	人形浄瑠璃	邦楽	演芸
前日仕込みの有無		なし	なし	あり	あり	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
9月25日	土																
9月26日	日										●						
9月27日	月		○		○			○	○		○		●			●	
9月28日	火		○		○			○	○		○		○			○	
9月29日	水		○		○			○	○		○		○			○	
9月30日	木		○		○			○	○		○		○			○	
10月1日	金		○		○			○	○		○		○			○	
10月2日	土																
10月3日	日									●	●						
10月4日	月		○				○	○	○	○	○		●			●	
10月5日	火		○				○	○	○	○	○		○			○	
10月6日	水		○				○	○	○	○	○		○			○	
10月7日	木		○				○	○	○	○	○		○			○	
10月8日	金		○				○	○	○	○	○					○	
10月9日	土									●							
10月10日	日									●							
10月11日	月						○			●						●	
10月12日	火		○				○	○		○						○	
10月13日	水		○				○	○		○						○	
10月14日	木		○				○	○		○						○	
10月15日	金		○				○	○		○						○	
10月16日	土									●							
10月17日	日									●	●						
10月18日	月		○					○		○	○	○	●			●	○
10月19日	火		○					○		○	○	○	○			○	○
10月20日	水		○					○		○	○	○	○		○	○	○
10月21日	木		○					○		○	○	○	○		○	○	○
10月22日	金		○					○		○	○	○	○		○	○	○
10月23日	土									●					○		●
10月24日	日					●				●	●				○		●
10月25日	月		○	○		○		○		○	○	○	●		○	●	○
10月26日	火		○	○		○		○		○	○	○	○		○	○	○
10月27日	水		○	○		○		○		○	○	○	○		○	○	○
10月28日	木		○	○		○		○		○	○	○	○		○	○	○
10月29日	金			○		○		○		○	○	○	○		○	○	○
10月30日	土									●					○		●
10月31日	日									●	●				○		●
11月1日	月				○			●		○	○	○	●		○		
11月2日	火				○			●		○	○	○	○		○		
11月3日	水									○	●				○		
11月4日	木				○			●		○	○	○	○		○		
11月5日	金				○			●		○	○	○	○		○		
11月6日	土									●					○		
11月7日	日					●				●	●				○		
11月8日	月		●			○	○	●		○	○	○			○	●	○
11月9日	火		○			○	○	●		○	○	○			○	○	○
11月10日	水		○			○	○	●		○	○	○			○	○	○
11月11日	木		○			○		●		○	○	○			○	○	○
11月12日	金		○			○		●		○	○	○			○	○	○
11月13日	土									●					○		●
11月14日	日														○		●
11月15日	月		○	○	○		○	●				○	●		○	●	○
11月16日	火		○	○	○		○	●				○	○		○	○	○
11月17日	水		○	○	○		○	●				○	○		○	○	○
11月18日	木		○	○	○		○	●				○	○		○	○	○
11月19日	金		○	○	○			●				○	○		○	○	○
11月20日	土														○		
11月21日	日														○		
11月22日	月		○					●	○			○			○		
11月23日	火					●									○		
11月24日	水		○			○		●	○			○	○		○		○
11月25日	木		○			○		●	○			○	○		○		○
11月26日	金		○			○		●	○			○	○		○		○
11月27日	土					●									○		●
11月28日	日					●					●				○		●
11月29日	月		○	○		○		●	○		○		●	○	○	●	○
11月30日	火		○	○		○	○	●	○		○		○	○	○	○	○
12月1日	水		○	○		○	○	●	○		○		○	○	○	○	○
12月2日	木		○	○			○	●	○		○		○	○	○	○	○
12月3日	金		○	○			○	●	○		○		○	○	○	○	○
12月4日	土														○		
12月5日	日										●				○		
12月6日	月		○	○			○	●	○		○		●		○	●	
12月7日	火		○	○			○	●	○		○		○		○	○	
12月8日	水		○	○			○	●	○		○		○		○	○	
12月9日	木		○	○			○	●	○		○		○		○	○	
12月10日	金		○	○			○	●	○		○		○		○	○	
12月11日	土																
12月12日	日																
12月13日	月		○	○			○	●	○					○		●	
12月14日	火		○	○			○	●	○					○		○	
12月15日	水		○	○			○	●	○					○		○	
12月16日	木			○			○	●	○					○		○	
12月17日	金			○				●	○							○	
12月18日	土																
12月19日	日																
12月20日	月							●								●	
12月21日	火							●								○	
12月22日	水							●								○	
12月23日	木							●								○	
12月24日	金							●								○	
12月25日	土																
12月26日	日																
12月27日	月							●								●	
12月28日	火							●								○	
12月29日	水							●								○	
12月30日	木							●								○	
12月31日	金							●								○	
1月1日	土																
1月2日	日																
1月3日	月																
1月4日	火							●									
1月5日	水							●									
1月6日	木							●									
1月7日	金							●									
1月8日	土																
1月9日	日																
1月10日	月																
1月11日	火						○	●									
1月12日	水						○	●									
1月13日	木						○	●									
1月14日	金						○	●									
1月15日	土																
1月16日	日										●						
1月17日	月		●					●			○			○		●	
1月18日	火		○					●			○			○		○	
1月19日	水		○					●			○			○		○	
1月20日	木		○					●			○			○		○	
1月21日	金		○					●			○					○	
1月22日	土																
1月23日	日										●						
1月24日	月		○				○	●			○		●			●	
1月25日	火		○				○	●			○		○			○	
1月26日	水		○				○	●			○		○			○	
1月27日	木		○					●			○		○			○	
1月28日	金		○					●			○		○			○	
1月29日	土																
1月30日	日																
1月31日	月							●									

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に〇を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，〇を付してください。　　A区分のみ　・　A区分とB区分の両方　・　Ｃ区分

複数申請の有無（該当する方に〇を付してください。）　　あ り　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに〇を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじん　きょういくえんげきけんきゅうきょうかい 公益社団法人　教育演劇研究協会		
代表者職・氏名	代表理事　森下　文雄		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒435-0015 静岡県浜松市東区子安町 323-3		
電話番号	053-461-5395	ＦＡＸ番号	053-461-6378
ふりがな 公演団体名	げきだんたんぽぽ 劇団たんぽぽ		
代表者職・氏名	代表　上保　節子		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒435-0015 静岡県浜松市東区子安町 323-3（JR「浜松駅」からバス 10 分「子安」下車）		
制作団体設立年月	1955 年　　2 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事　森下文雄 常務理事　上保正道 理事　　鈴木秀志　佐野牧夫 他 10 名 監事　　守屋明　杉山一成	(1)団体構成員　個人正会員　45人（うち劇団員31人） 個人賛助会員　43人（うち法人会員4社） (2)加入の条件　法人の目的に賛同し、理事会の承認を得た者	
事務体制の担当	専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	上保節子・松下哲子
経理処理等の監査担当の有無	有　・　無	経理責任者名	森田美代子（経理） 守屋明（監査）

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">1945 年　長野県篠ノ井町（現長野市）で小百合葉子主宰の児童劇団たんぽぽを発足。
1950 年　長野県松本市へ拠点を移し、公演は、東京、静岡、岐阜、神奈川へと広がる。
1953 年　活動の拠点を静岡県浜松市へと移す。
1955 年　文部省（当時）から児童劇団として初めて公益法人格が許可され社団法人教育演劇研究協会を設立。
1963 年　復帰前の沖縄公演に出発。沖縄全域 120 日 209 公演実施。
1966 年　北海道に事務所を新設。
1972 年　長野県に事務所を新設。
1986 年　沖縄県に事務所を新設。
1996 年　社団法人設立 40 周年、劇団創立 50 周年を記念し、全国縦断公演を行う。
2012 年　内閣府より公益社団法人の認定を受け、公益社団法人教育演劇研究協会に移行。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">劇団創立以来、公演回数は、延べ 44,000 回以上を実施。その公演のうちほとんど（約 8 割）が、学校体育館での公演である。
その公演活動範囲は、北海道から沖縄に及び、学校規模も児童数 1,000 人以上の学校から 10 人に満たない小規模学校まで、様々行っている。
年間公演回数は約 350 公演。昨年（R元年）度は、335 日 404 公演を実施。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">平成 21 年、静岡県文化振興プラン事業として、特別支援学校 21 校、延べ 2,553 人の特別支援学校の生徒を招待し、8 会場 11 公演を実施した。
平成 22 年度には、諫早特別支援学校、島原特別支援学校、他 3 校で実施。
これまでにも、毎年1校以上は、聴覚、視覚障害を含む特別支援学校で、公演を行っている。
平成 30 年度、「文化芸術による子供の育成事業」で、北海道釧路鶴野支援学校で公演。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>(有)　・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>(有)　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>DVD を提出します</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="4">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　劇団たんぽぽ　】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	メニューはお話『おはなしレストラン』
本公演演目 原 作 ／ 作 曲 脚　　本 演 出 ／ 振 付	『おはなしレストラン』 原作/ブレーメンの音楽隊・おおきなかぶ 脚本/宮田恵紀子　演出/村岡由美子 音楽/村岡由美子　衣装・美術/柿平衣名美 照明/真野亮文 公演時間（ 60 分）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演 目 概 要	劇団たんぽぽの昔話作品集「おはなしあのね」の中から、「ブレーメンの音楽隊」と「おおきなかぶ」を組み合わせ、『おはなしレストラン』として上演します。 【あらすじ】 「いらっしゃいませ。おはなしレストランへようこそ。このレストランで、お出しするものは、食べ物のお料理ではございません。日本中、いや世界中のいろいろなお話をご用意しております。さて、皆さん、なんのお話がお好みですか？」 ウエイター、ウエイトレスと客席との掛け合いから始まるお芝居。今回は、めん料理とかぶ料理『ブレーメンの音楽隊』と『おおきなかぶ』をお出しします。 だれもが知ってるお話を、客席とコミュニケーションを取りながら、時に、お芝居に参加してもらいながら、演劇を身近に感じてもらえる作りとなっています。
演 目 選 択 理 由	この演目では、特に、演劇体験ということにこだわっています。お話自体は、単純なわかりやすい昔話であり、友情や勇気、命、など大きなテーマがあるわけでは、ありません。しかし、耳になじんでいる、絵本や教科書で知っているこのお話が、劇になって立体的に表現されると、こんな舞台になるんだということを、強く感じられる演目であります。その単純なお話の中に参加して、一緒に表現を楽しむためには、最適な作品ではないかと思い、選択いたしました。1 年生から 6 年生まで、ほとんどの子どもたちが、どこかで耳にしたことのあるお話に、学年を超えて、異年齢で参加することで、お互いを意識した相乗効果が生まれると考えています。 また、コロナによる影響が、どのくらい続くのか予想がつかない中、上演時間も短く、明転のまま、開放感のある空間で上演できることも選択理由の一つです。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	「おおきなかぶ」の、かぶを抜くシーンで、参加してもらいます。なかなか抜けないかぶを抜くため、だれが、選ばれるかわからない状態から、なるべく、異年齢同士がつながれるよう工夫します。単なる遊びにならないよう、お互いのコミュニケーションを図りながら、息をあわせ、一体感が味わえるよう、工夫します。観ている観客を意識し、どれほど大きな、なかなか抜けないかぶなのかを、観客が想像できるような動きを表現してもらい、演じる事の楽しさを体験します。

<table>
<tr><td></td><td colspan="3">「ブレーメンの音楽隊」では、事前に、夢の国（と思っている）ブレーメンへ向かう道のりの歌を、一緒に歌ってもらいます。歌詞の一部を替え歌にし、子どもたちの考えた歌詞で、歌ってもらう場面も作ります。この先に待っている楽しさへの期待を込めて、だんだんと気持ちが盛り上げっていく様を、リズムに乗って体を動かしながら、参加してもらいます。</td></tr>
<tr><td>出　　演　　者</td><td colspan="3">岩本道夫/宮田恵紀子/柿平衣名美/金原綾香/榊原暁哉</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者:　5名
ス タ ッ フ:　3名
合　　計:　8名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　0.1t
車 長　6m
台 数　1台</td></tr>
</table>

【公演団体名　劇団たんぽぽ　　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み（ 有 ・ 無 ） 会場設営の所要時間（　　1時間程度　）
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み
ワークショップ</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>8時</td><td>8時～　9時
9時半～11時半</td><td>13時～14時</td><td>0分</td><td>14時～15時</td><td>15時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ　～300名
本公演　～300名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>ワークショップは、公演日と同日の2時限分を想定しております。
全校生徒を対象に実施することも可能ですが、参加人数は、学校側との話し合いで決めたいと思っています。

【事前準備】
あらかじめ、作品中の音楽CDと楽譜を学校に郵送しておきます。
音楽の時間や給食の時間などを利用して、音楽を流し、歌を周知していただきます。
替え歌にできる部分を明記しておき、ワークショップまでに、児童たちに、候補を考えておいてもらいます。

【ワークショップ当日】
①　1時限目は、発声と体を使った表現遊びを行います。
・発声指導は、相手に届く声、伝える言葉ということに重点を置き、指導します。
・体をつかった表現遊びは、想像力を使って、自由に表現する楽しさを体験してもらいます。本番まで、「大きなかぶ」の参加のことは伏せておきます。そのため、そこに参加することを想定し、抵抗なく、表現できるような雰囲気づくりをします。体で動物を表現してもらったり、お題を出して、何人かで一つのものを表現してもらったりして、どんな表現も間違っていないということを感じてほしいと思います。

②　2時限目は、劇中歌のワークショップです。
・高学年を想定しています。「ブレーメンの音楽隊」の中で使われる、ブレーメンへ行くまでの道行きの歌の替え歌を作ります。事前に考えてもらっていた歌詞を発表しあい、歌を作ります。それを練習して、本番で歌ってもらいます。また、その歌に合わせて、リズムをとりながら、劇を盛り上げる役割も担います。何回か出てくるこの歌は、仲間が増えていくことで、徐々に盛り上がっていきます。そこを表現できるよう指導します。</td></tr>
</table>

ワークショップ実施形態の意図	公演日当日のワークショップを設定することで、実際に参加する場面のイメージがつきやすく、公演に対する期待を高める意図があります。希望があれば、舞台設営の様子から見学してもらうこともできます。 事前に作品の音楽 CD を送っておいたり、参加する場面があることを伝えることによって、公演に対する意識を高めていきます。 ①発声指導では、恥ずかしがらず自然に声が出せるように、遊びや対抗戦などを使って、自然と大きな声が出せるように指導します。 また、体を使った表現遊びでは、個々やグループで、いろいろな動物になったり、物になったりして、道具を使わずに表現する方法を体験します。最後に、全体で、ボールなしボール投げや、綱なし綱引き大会などを行い、全体の一体感とコミュニケーションを図りながら、「おおきなかぶ」に参加した際に、イメージがつながりやすくなるようなワークショップを行います。 ②あらかじめ、用紙しておいてもらった劇中歌の替え歌の練習をします。 メロディーは事前に CD をお送りし、曲の長さも短いため、スムーズに進行できます。 自分たちが考えた歌詞で本番の歌が歌われることで、より、公演に参加している意識をもってもらうねらいがあります。高学年になると、表現することに抵抗や恥ずかしさを強く感じる子が出てくるため、自然と作品の中に自分たちも関わっていると意識が持てるよう工夫します。そして、その歌を一緒に歌って、劇を盛り上げ、作品の中で、役を担っているということを感じてもらいます。
特別支援学校での実施における工夫点	特別支援学校では、上演実績があり、同事業においても参加型で実施した実績があります。これまでも、実施校の先生方と話し合い、学校側の実情とニーズに合わせ、臨機応変に対応してまいりました。この作品も、特別な変更なく実施できると考えています。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

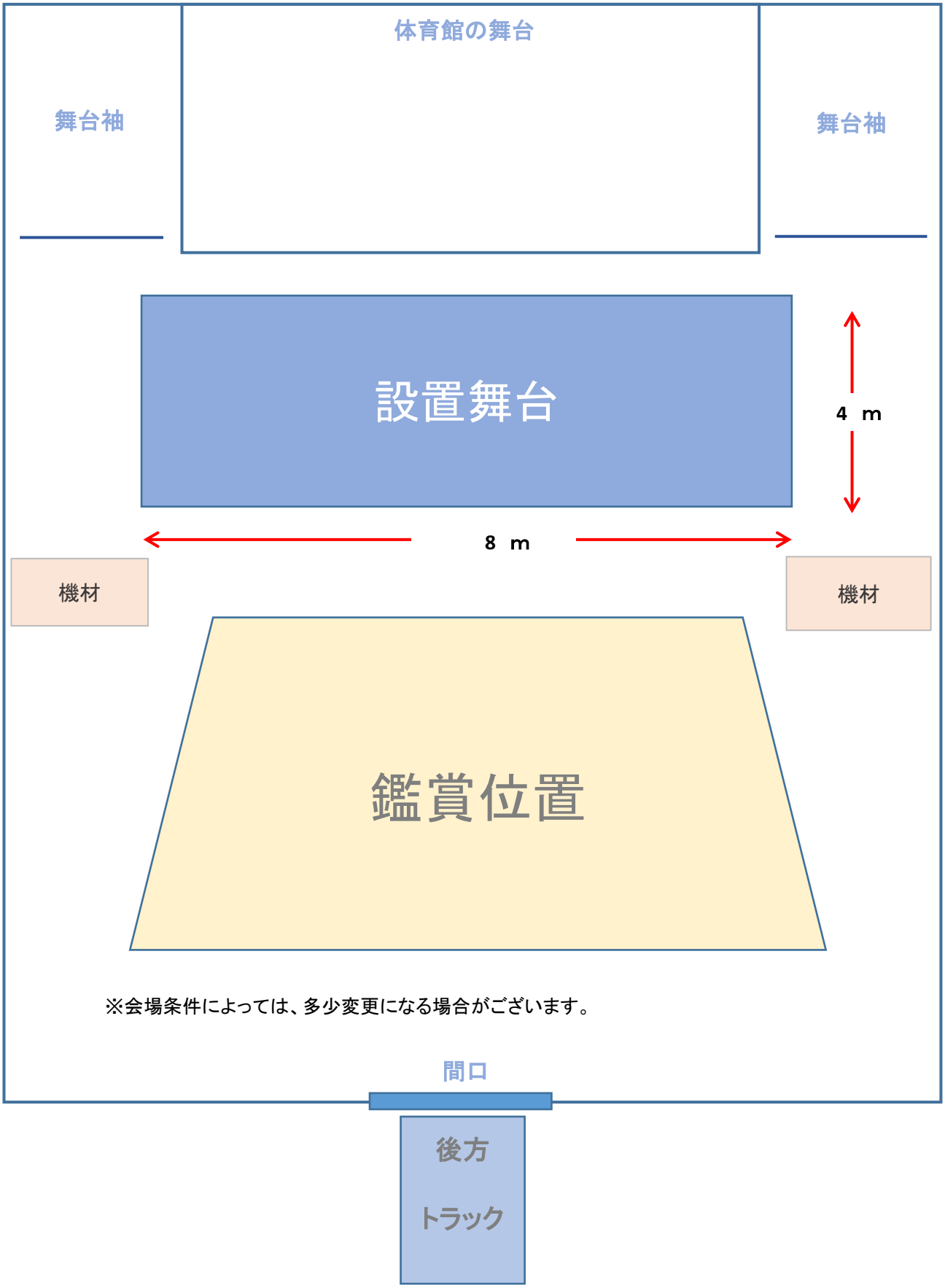
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	437	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	C区分
公演団体名	劇団たんぽぽ				制作団体名	公益社団法人　教育演劇研究協会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	1室	条件	概ね体育館ステージや器具庫を控室とさせていただいております。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　1台	乗用車　2台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			バン（ハイエース）			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			100m以内			
	可	搬入経路の最低条件			屋根のある経路が望ましい。			
		理由			舞台道具搬入の際、雨や風の影響をさけるため。			
	―	設置階の制限＊			問わない			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	概ね1.8m	高さ	概ね2m		
WSについて	可	参加可能人数		300名くらいまで。				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		90分（2時限分）				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		300名くらいまで。				
	不可	舞台設置場所＊		フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8m	奥行	4m	高さ	5m
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		不要			
	―		舞台袖スペースの条件＊					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要		
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	―		ピアノの事前調律＊		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		ステージ前方にあるものが、格納式ならば可			
	可	公演に必要な電源容量		50A～75A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							

会場図面(表記単位:メートル)



※会場条件によっては、多少変更になる場合がございます。

搬入間口について	幅	概ね1.8m	高さ	概ね2m
搬入車両の横づけの要否	要(できる限り横づけを希望)			
横づけができない場合の搬入可能距離	100mくらい			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に〇を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，〇を付してください。　A区分のみ　・　A区分とB区分の両方　・　C 区分

複数申請の有無（該当する方に〇を付してください。）　あ り　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに〇を付してください。）
（1）公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
（2）公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
（3）提案したいずれか1企画のみ実施可能
（4）その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんかいしゃ　ぱっくはんまいむこうぼう 有限会社　PAC 汎マイム工房		
代表者職・氏名	荒井範昭		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒137-0037　東京都板橋区小茂根 4 丁目 2-19 （副都心線・有楽町線　小竹向原　　/　バス停　小茂根）		
電話番号	03-6905-8908	ＦＡＸ番号	03-6905-8909
ふりがな 公演団体名	げきだん　はんまいむこうぼう パントマイム＆クラウン　「劇団汎マイム工房」		
代表者職・氏名	主宰　あらい汎（荒井範昭）		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒137-0037　東京都板橋区小茂根 4 丁目 2-19 （副都心線・有楽町線　小竹向原　　/　バス停　小茂根）		
制作団体設立年月	1985 年　　10　月		
制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役　荒井範昭	制作事務　2 名 劇団員　6 名　準劇団員 3 名　研修生 5 名 研修生・面接試験　準劇団員:2 年研修後劇団員:4 年活動後	
事務体制の担当	専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	荒井範昭

経理処理等の監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	大久保裕二
制作団体沿革	舞台芸術学院 15 期卒、新劇劇団養成所、児童劇客演を経てグループ「ザ、パントマ」と出会いパントマイムを始めた「あらい汎」が、ヨネヤマママコ女史と出会い、助手、助演者として活動。その間アメリカ、ヴィスコンシンの「ヴィテルボカレッジ」にて、マイムクラウンの講習に参加。この間、太田省吾主宰の「転形劇場」に 10 年在籍。 1976 年独立。養成スタジオ「汎マイム工房」三軒茶屋にてスタート。 1982 年(有)汎マイム工房として池袋に劇団設立。劇団公演及び研修生発表会を毎年公演。あらい汎は、TV 番組 TBS の「ワンツージャンプ」フジ TV の「ひらけポンキッキ」にレギュラー出演。この年、あらい汎、イタリア、マイムフェスティバルにて「マイムドラマ「男のヴァラード」でマイムソリスト賞受賞。1983 年黙劇「待合室」でグランプリに輝く。 1986営業事務所(有)PAC を設立。練馬氷川台倉庫(旧転形劇場 T2 スタジオ)に移転。遊園地、ホテル、デパートイベントに進出。 1990 年付属養成所はアメリカのリングリングサーカス主催のクラウンカレッジ，イン、ジャパンと合併。パントマイムとクラウンの養成所として拡充。鑑賞団体「親子劇場」に参加、年間 75ステージなどを実施。小中高校公演、大学祭参加のほか、海外公演への積極的派遣。イタリア、フランス、ギリシャ、ブルガリア、ポーランドなど。ユーゴセルビアの孤児難民施設慰問公演。 あらい汎、大学、劇団養成所、専門学校、等での育成講座多数。 2002 年児演協に加盟。児童青少年の為の公演に多数参加。2013年8月、2社合併 板橋に事務所、稽古場、倉庫を移転。 文化庁主催事業、巡回公演、派遣事業に積極的に参加。児童館、小学校、中学校、高校公演。地域の催事にも参加、養成機関歴 40 年以上。パントマイムの普及にも力を注いでいる。		
学校等における公演実績	1976 年より「パントマイムサーカス」を遊園地、小学校、幼稚園、保育園での上演を始める。1980 年マイム劇「男のバラード」発表と同時にマイムバラエティー「道化師博覧会」を発表。オムニバス作品を、小学校向け、中学校、高校向けと編成。幅広い学校公演を目指す。1989 年小中学校向け「ピエロマイムファンタジー」を構成。学校公演のほか、全国親子劇場で上演。年間 75 ステージを数える。1995 年高学年向けとして「道化師芝居シリーズ」を発表。全国鑑賞団体、文化庁本物の舞台、他大学、高校での公演に招かれる。 9 人編成の「ザ、パレード」6 人編成の「リトルパレード」2 人編成の「ふたり」など、希望に応じて公演を実施。2004 年より「あらい汎ソロマイム」の巡演もスタート。 2012「道化師芝居」16 回 ピエロマイム8回 2013「ピエロマイム」8回「道化師芝居」 2回 2014「道化師芝居」8 回「ピエロマイム」23 回 2015「ピエロマイム」9 回 2016「ピエロマイム」15回 2017「ピエロマイム」17 回「道化師芝居」3回 2018 あらい汎ソロマイム 2 回 ピエロマイム 4 回 道化師芝居 2 回 2019 あらい汎ソロマイム 3 回 ピエロマイム 4 回 道化師芝居 2 回 2020 年新型生コロナ禍の為公演中止。 以上以外に、文化庁本物の舞台、巡回公演事業、厚生労働省公演などがある。		

<table>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">神奈川県清川ホーム（2006 年～2011 年、年変わりで作品変更）
平川病院（2006 年～2013 年により作品変更で上演）
2014 北茨城特別支援学校　長崎県大村支援学校、富山県立しらとり支援学校、福井県立ろう学校
2015 広島庄原特別支援学校　島根出雲養護学校　東京立川ろう学校
2016 徳島聴覚支援学校　　阪神特別支援学校　久留米聴覚支援学校</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>http://www.hanmime.com</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容 **【公演団体名 汎マイム工房 】**

対 象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	あらい汎の「マイム・ひとり旅」
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚 本 演 出 ／振 付	あらい汎の「マイム・ひとり旅」 構成・演出 あらい汎 公演時間（ 75 分）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演 目 概 要	1. クラウンの登場：山高帽に茶色のボストンバッグ。旅の道化師「あらい汎。」ボストンバッグが突然動かなくなり、帽子が勝手に動き出します。中央に座り込む汎。目の前に見えない幕。パントマイム劇場の始まりです。 2. 光との戯れ。 3. 御挨拶。 4. マイムドラマ「風船」子供からもらった風船で老人が思い出の旅に出ます。 5. あらい汎のマイムの旅のお話し 6. マイム詩集「北原白秋作 薔薇」 7. マイム教室と道化師の話 8. マイム「道化師の綱渡り。」 9. パントマイム教室そして客席と一緒に「マスクマイム」 10. マイム詩集「雨ニモマケズ 宮澤賢治」 11. フィナーレ
演 目 選 択 理 由	道化師は、何処にでもいるキャラクターです。どこかで会った事のあるキャラクターです。 つまり、特別な設定や、役柄ではなく今ここで起こる、ここにいる人間のドラマを観客と共有することになります。クラウンは、子どもの心に棲んでいるキャラクターであり、自分の仲間の事として体験し自己と同一の発想として鑑賞してもらえます。また、言葉無き行為故に、自らの言葉で解釈することとなり、コミュニケーション能力の向上に役立ちます。登場人物が操る高度なマイムテクニックを目にし、人の能力の可能性、即ち自分の中にもある可能性として観て頂けると確信してます。 各作品の合間に、パントマイムやクラウンの語源や歴史、海外、国内を旅して出会った人々の話、を交え作品の出来た経緯を紹介します。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	1　公演前、の体育館を劇場にする準備。体育館と劇場の違いを説明しながら舞台と、客席を作ってゆきます。舞台袖の整備。舞台用語と共に、舞台の使い方が、児童心理学を基本に考えられている事を説明してゆきます。 舞台の作り方を知りながら、学校、教室など、身の回りの環境を考える一助にと考えております。 2 見ていて不思議なマイムテクニック。無いのにあるように見えるマイムテクニックを発表します。壁のマイム。簡単ではないけれど、身体で具体化できる喜びを感じてほしいです。 3 創作コーナー。植物（木、花）の種から成長、そして寿命で枯れ、種に戻るまでを発表します。 最初は、一人ずつのソロマイム。次は、5～6 人のグループでのアンサンブルマイムの発表。グループによる発想の違い、取組みの違いを創造し、鑑賞します。 4 客席に座ったままでもできるマスクマイムを全員でやってみます。笑い顔と、泣き顔をマスクにして、つけたり外したりのマスクマイム。楽しい遊びが創造の基本です。 5 ボールジャグリング大会を行ないます。3 個でやるカスケードが目標ですが、1 個の基本が大事なる事を説明。1 個ボール、2 個ボール、3 個ボールと進み、優勝者には、劇団から夢のプレゼント。積み重ねが大切です。		
出　演　者	**あらい汎　　キャスト** **（マイム教室、発表会担当）林ゆうこ　計 2 人**		
公演出演予定者数（1公演あたり）	出 演 者:　2 名 ス タ ッ フ:　3 名 合　計:　5 名	機 材 等 運搬方法	積載量　1.5　t 車 長　4.8　m 台 数　1　台

【公演団体名　　汎マイム工房　　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(　　3　時間程度)
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>8 時</td><td>9 時～11 時
11 時～12 時生徒稽古　食事・メイク</td><td>13 時 30 分～
14 時 45 分</td><td>0 分</td><td>15 時～
17 時</td><td>17 時30分</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>児童生徒の参加可能人数 20名の高学年</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>150名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟの参加可能人数は、30人から50人位を想定しております。また学年は、小学校高学年(5．6年生)から中学生を対象に行っております、ご担当先生と相談しながら決めてまいります。
イントロダクション
ピエロになろうワークショップという題名で進行します。まず、ピエロをみんなで思い起こします。様々な意見が出てきます。その意見を基に道化師の歴史のお話。クラウンの意味などを話しながらに白板にピエロの姿を描き出して行きます。クラウンは、いろんなスキル、テクニックを必要とします。その中でクラウンになる為に、今日は、パントマイムと、ジャグリングをやってみます。パントマイムを見たことのない子供、パントマイムの一部のテクニックしか知らない子の為にマイムの短編作品「老人と風船」を見てもらいます。
鑑賞。一人ぼっちの老人が公園にやってきます。一人の子供が現れます。風船を拾ったようです。中々膨らみません。老人がやってみます、膨らみません。引っ張ったり叩いたり。ダメです。2 人で引っ張ってみます。ダメです。あきらめた子供は、違う遊びを見つけたのか走り去ります。一人残された老人。風船と格闘、と、風船が膨らみます。放すと客席に飛んでゆきます。子供たちと一緒に探します。一人の子供の頭の上にありました。老人は。再び挑戦。大きく膨らむ風船。おおきな風船を投げたり転がしたりしている内に風船は、老人を連れて空に浮かんでゆきます。老人と風船の空の冒険が始まります。肉体表現の面白さを知ってもらいます。
ウォーミングアップ
パントマイムの特徴を話し合います。無言、無対象、道化師。不思議な表現方法ではなく皆が日常普通にやっている表現方法である事を知ってもらいます。
表現したくなる身体の発見。⇒参加者で埋める空間。地面や空を身体で埋めてゆきます。身体の自由な発想には、共通、似通ったところがあります。これが肉体表現が世界にも通じる根拠です。物真似ごっこなどで、身体と心を開放してゆきます。
身体の表情⇒つま先歩き、踵歩き、ベタ足歩きで気分が変わります。身体の色々な部分を動かし、意識する事で、身体には色々な身体の言葉のある事を発見します。</td></tr>
</table>

	身体表現・マイムテクニック⇒重さの表現は実際に重い身体を作り出すことです。壁のマイムではもう一度壁に触れ、壁を観察し直し、感じた事を言葉にし身体で作り出し、初めて表現する事ができます。身体が、壁を真似しているのです。 **創作活動・木や花をマイムする**⇒参加者全員が種になり、育ち、花咲き、実を着け枯れて種に戻るまでを演じてもらいます。初めは一人で、次には5人位のアンサンブルで。アンサンブルでは、それぞれのグループで、植物、木や花からいろんな言葉や、状態を見つけ出し、それぞれの植物マイムを作り出してゆきます。発表会。感想。 **ジャグリング・物と遊ぶ**⇒身近にある生活用品で遊んだのが始まりです。物との素朴な関係と、物を観察する事で物の特徴を知り操ってゆきます。3個に行くために1個での訓練が大切であることを知ってゆきます。観察し、努力して生み出された見事なテクニック。ボールジャグリングを体験してもらいます。 グループでの花のパントマイム創作で相談する子供たち 話合い　感想質問　次にやってみたいこと
ワークショップ実施形態の意図	特殊だと思われているパントマイムの表現方法は、人々の日常生活の中にいっぱい転がっている表現である事を知ってもらい、マイムは特殊な方法ではなく、日常の中で頻繁に使われている所作である事を知る。 身体の持っている多様な表情を知り、それが自己表現(コミュニケーション)の道具となる。 他者も自分の想いを体で表現している事を知り、人の沈黙や体の表情にたくさんの思いが潜んでいる事を知ってゆく。 パントマイムは、色々な物まねが原意です。真似する事で物や、人の心に近づけます。 木や花をマイムする⇒参加者全員が種になり、育ち、花咲き、実を着け枯れて種に戻るまで。 ジャグリング体験では、身近に転がっている物から新しい発想を持ち、やれば必ずできるという自信と、自分への可能性を知ってもらいます。
特別支援学校での実施における工夫点	パントマイムは色々な物真似という意味です。日常生活で見たり聴いたりしている物を真似してみます。その身体能力によって手のみ、顔のみで真似をして見ます。その真似を互いに伝えていきます。 例えば座っていても出来るマイムテクニックを向かい合ってやってみます。 ジャグリングは、その身体能力によって仲間や付き添いの先生との投げあい、又は、手渡しリレー等とアレンジしてゆきます。

実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

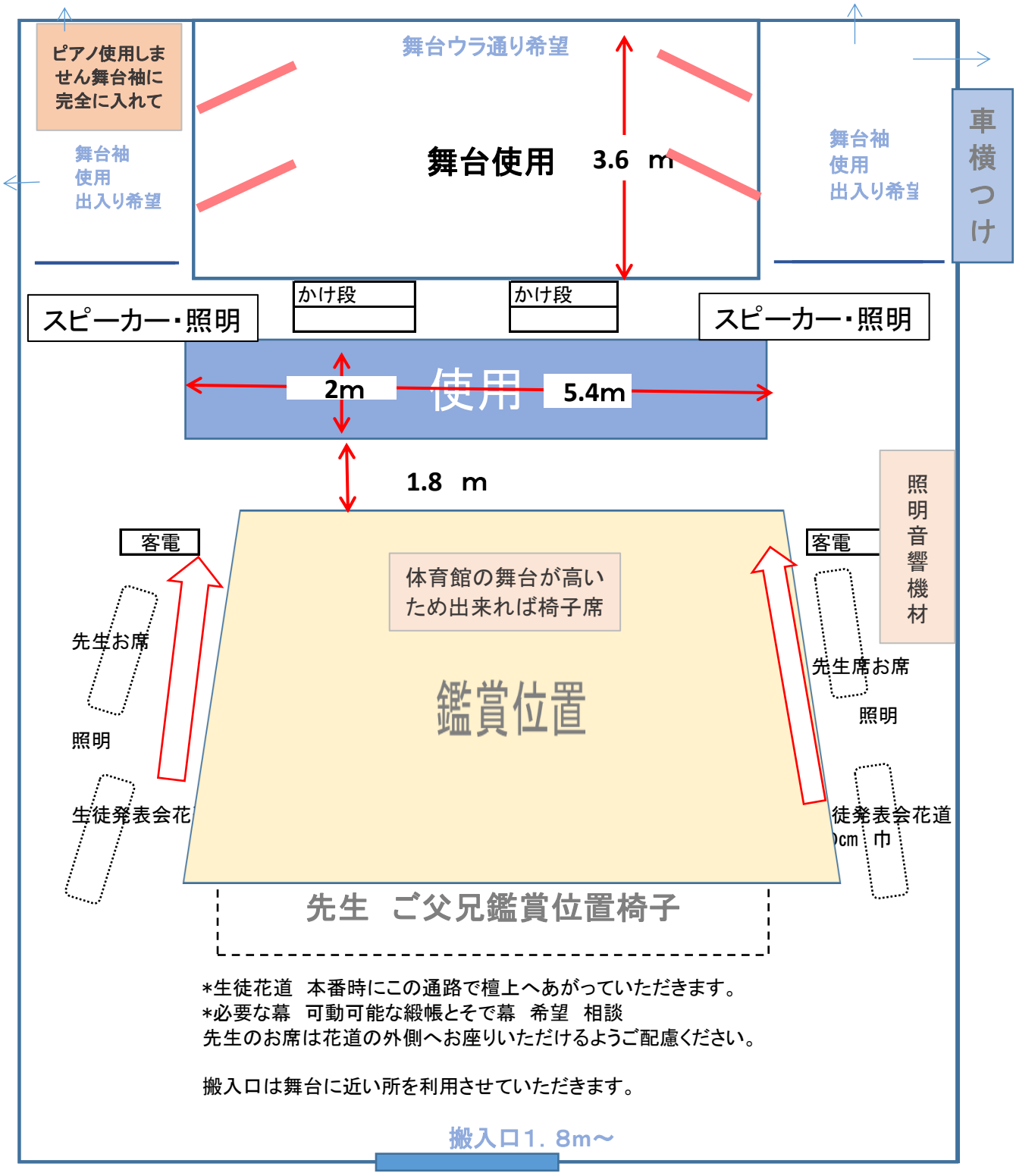
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1326	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック		区分	C区分
公演団体名	パントマイム＆クラウン「劇団汎マイム工房」				制作団体名	有限会社PAC汎マイム工房			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	1室	条件	体育館近め　水回り使用　トイレ近く希望。窓目隠し＊理科室・調理室代用可能			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　　1台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			499cm×169cm　高さ228cm			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			平地10m程度　台車必要			
	可	搬入経路の最低条件			出来れば平地雨天時は雨を避けて通る。搬入時に幕、照明音響機材、パネル　衣装道具があるため			
		理由			音響機材　砂袋など重量がある物があるため			
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	180cm	高さ	200cm		
WSについて	可	参加可能人数		20人				
	不可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	高学年小学校5.6年中学生		
	可	所要時間の目安 単位：分		120分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		150人				
	可	舞台設置場所＊		基本は舞台ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	540cm	奥行	360cm	高さ	360cm
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要　出演者待機と道具を置く			
	可		舞台袖スペースの条件＊		袖に荷物が無い状態			
	可		緞帳＊	要	バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	集中させるため		
	不可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		要	※舞台外へ会場設置図面に記載て御確認ください。		
	可		ピアノの事前調律＊		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量		100A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							
	可	会場が2階より上の場合、道具搬入のお手伝いをお願いします。						
	可	舞台面にかけ階段が必要です。無い場合は代わりになる箱、台をお借りします						
	可	客席側の窓に暗幕が無い場合はマットなどで代用いたします。						

会場図面(表記単位:メートル)

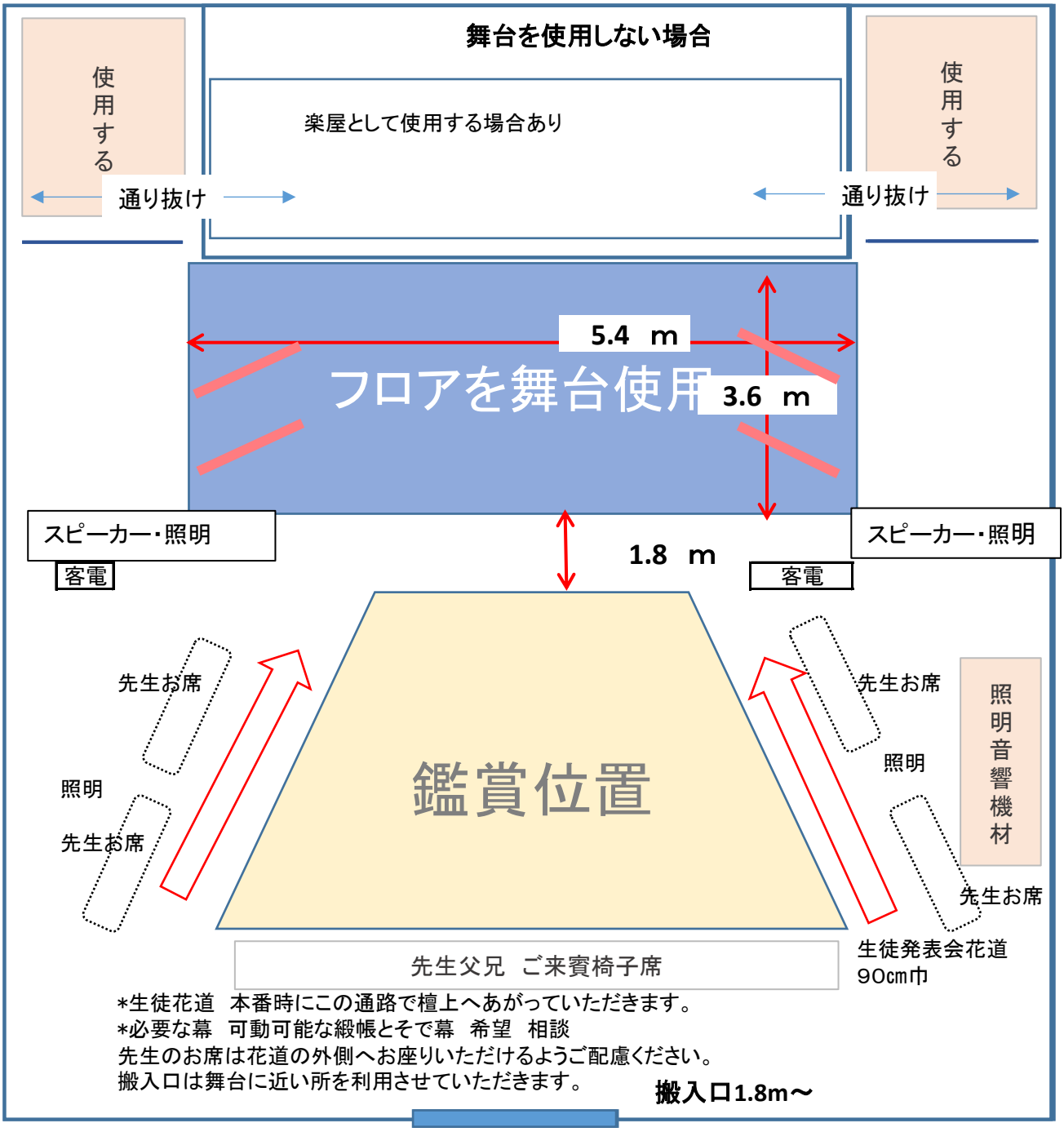


舞台使用時

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル)



フロア使用時

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Ⅷ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(メディア芸術)

分野，種目（該当する**種目**に〇を付してください。）

分野	種目
【メディア芸術】	映像，メディアアート等

申請する区分に，〇を付してください。　　A区分　・　C 区分

複数申請の有無（該当する方に〇を付してください。）　　あ り　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに〇を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじんこどもえいがきょうしつ 一般社団法人こども映画教室		
代表者職・氏名	代表理事　土肥 悦子		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒158-0084 東京都世田谷区東玉川 1-32-23 こども映画教室事務局 【最寄駅】田園調布駅		
電話番号	050-3188-1549	ＦＡＸ番号	
ふりがな 公演団体名	こどもえいがきょうしつ こども映画教室		
代表者職・氏名	代表理事　土肥　悦子		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒158-0084 東京都世田谷区東玉川 1-32-23 こども映画教室事務局 【最寄駅】田園調布駅		
制作団体 設立年月	2013 年 4 月 (2019 年 1 月一般社団法人化)		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	土肥 悦子（代表理事） **諏訪 敦彦（専務理事）** **藤岡 朝子（理事）** **原 悟（理事）** **林 知一（理事）**	**団体社員　土肥 悦子／諏訪 敦彦** **従業員（事務局）浅見 孟** **団体社員加入条件：社員総会での協議の上、加入**	
事務体制の担当	専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	**浅見 孟**

経理処理等の監査担当の有無	有 ・ 無	経理担当者	土肥 悦子
制作団体沿革	2004 年 金沢コミュニティシネマが主催(金沢 21 世紀美術館共同主催)として、前身となる「こども映画教室」を石川県金沢市が拠点として開催(以降毎年開催) 2013 年 任意団体「こども映画教室」として、東京都を拠点に活動開始。2013 年から 2018 年までの6年間で 40 回の映画に関するワークショップを行った。活動地域は、東京・横浜・川崎・福島・弘前・高崎・上田・豊田・奈良などに広がっている。 2015 年 上映会およびシンポジウム「こどもが映画と出会うとき」を主催(以降毎年開催) 2017 年 フランスのシネマテーク・フランセーズが主催する教育プログラム「Le Cinéma, cent ans de jeunesse(映画、100 歳の青春)」に、世界で 15 カ国目の参加国、そして日本初のコーディネーターとして参加。 2019 年 「一般社団法人こども映画教室」として法人化。		
メディア教育における活動実績	2013 年 8 月 横浜市教育委員会後援、東京藝術大学大学院映像研究科協力のもと「こども映画教室＠ヨコハマ 2014」実施 (2014 年、2015 年、2016 年も実施) 2014 年 6 月 世田谷区奥沢小学校 奥沢体験楽校にて 「映画のおもちゃをつくろう！」 (課外活動) 開催 11 月 〈こどもと映画制作〉しんゆり映画祭シンポジウム招聘・登壇 2015 年 1 月 映画と教育についてのシンポジウム 「こどもが映画と出会うとき」主催 (以降毎年主催) 1 月～3 月 横浜市立新田小学校 「こども映画教室＠新田小学校」を (総合の時間・国語などの授業で) 開催 2 月 「映像アート・マネージャー養成講座 in 宮古」にて 「こども映画教室と創造的な場づくりについて」講義・登壇 7 月 「全国映連第 44 回 映画大学 in 今治」にて 「映画館と街、子どもと映画」講義・登壇 10 月 山形国際ドキュメンタリー映画祭にて 「こどもと映画」シンポジウム招聘・登壇 2016 年 6～10 月 お茶の水女子大学付属小学校 選択授業にて 選択授業「映画」実施 2019 年 平成 30 年度国際交流基金海外派遣助成事業として 「こども映画教室 (映画教室) 南米・米国 公演・デモンストレーション」実施 チリのチリ大学において、「映画は学校だ！ 映画教育に関する国際シンポジウム」にて講演 (諏訪敦彦、土肥悦子) 「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演－実施 「こども映画教室シネクラブ＠横浜シネマリン 2019」実施 「こども映画教室 CCAJ2019-2020」実施 独立映画鍋主催「映画教育のススメ～教育における映画の可能性～」に参加 (中学生たち含む) 2020 年 「こども映画教室 2020×小布施短編映画祭」参加 「とよた★こども映画教室 2020」実施 「アトリエこども映画教室 2020」実施中 「TIFF ティーンズ映画教室 2020」実施中 「令和 2 年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演－」		

<table>
<tr><td>特別支援学校における活動実績</td><td colspan="3">「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演－」にて特別支援学級の児童と普通学級の児童混合でワークショップをおこなった</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する企画のチラシパンフレット等</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する企画の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※WEB 公開資料有の場合 URL</td><td>https://www.kodomoeiga.com/2019

https://www.kodomoeiga.com/blank-9</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する企画に近い活動を記録した DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※WEB 公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

Ａ区分・Ｃ区分共通

№2(メディア芸術)

メインプログラム ・ ワークショップの内 容 **【公演団体名 こども映画教室】**

<table>
<tr><td>対　　象</td><td>小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生</td></tr>
<tr><td>企 画 名</td><td>映画鑑賞+映画制作ワークショップ
「生きていないものが動く！」
～体育館が映画館に！
みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう！～</td></tr>
<tr><td>プログラム全体の流れ</td><td>【プログラムの構成】
<table><tr><td></td><td>ワークショップ 1 回 → メインプログラム</td></tr><tr><td></td><td>ワークショップ 2 回 → メインプログラム</td></tr><tr><td>○</td><td>ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ</td></tr><tr><td></td><td>メインプログラム → ワークショップ 2 回</td></tr><tr><td></td><td>メインプログラム → ワークショップ 1 回</td></tr></table>
【全体の流れ】
1 日目**【ワークショップ 1 回目】**(70 分)
① 導入・講師紹介・今日すること(5 分)
② 「映画鑑賞」:鑑賞作品『赤い風船』上映(35 分／1956 年／フランス)
③ 鑑賞ワークショップ
「映画の中の「赤い風船」の気持ちを想像してみよう」(30 分)
生きていない風船がまるで生きているように動き、少年との信頼関係や友情を結んでいく映画。しかし、風船の気持ちは映画の中では語られないので、風船が悲しい、嬉しいと思っていると感じているのは鑑賞している人。そこに気づいてもらうワーク
1)5 人のチームに分かれて映画に登場した人物、場所、出来事を思い出し、付箋に書き出す
2)映画の流れを描いた映画のタイムラインシートに、さきほどの人物、場所、出来事の付箋をそれらが映っている場所(時間)に貼る
3)赤い風船がどんなきもちだったのか、風船型のカードに書き込み、タイムラインシートに貼る
4)他のチームのタイムラインシートを鑑賞して、人との違いを発見する

【メインプログラム】(80 分 ※休憩含む)
④撮影ワークショップ(50 分)
『赤いボールの冒険』という映画を撮ってみよう」
1 チーム 5 名に分かれ、1 チームにつき 1 分の映画を撮影し、最後にそれを1本の映画にするプログラム
1) 鑑賞ワークで最後にやった、風船の気持ちを描いた風船型のカードの中から、各チーム 1 枚を選ぶ
2) そのカードに書かれた「気持ち」が『赤いボールの冒険』というこどもたちが作る映画のなかの主人公赤いボールの気持ちとなる。風船型のカード のゴムの部分を切り取り、ボール型のカード にする
3) 『赤いボールの冒険』ルールブックの説明(撮影の基本的な約束事)
4) 各チームに赤いボールと iPad が配られる
5) 各チームに配布されたミッションカードを全員が引き、そこに書かれたミッションを実行(クローズアップ、移動撮影、パン、などの撮影方法が自然とできるようなミッションになっている
6) 「秘伝の書」を使って、いわゆる「シナリオ」を書く。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td colspan="3">7)　チームごとに決めた「赤いボールの気持ち」が映るように、工夫して撮影

⑤編集ワークショップ（30 分）
「みんなで撮った映像を 1 分に編集してみよう」
1）iPad に入れた編集ソフトの操作方法を教える
2）こどもたちが自分たちで編集をする

＜＜1 日目の終了後からこども映画教室スタッフがこどもたちの作品を 1 本に編集。また、参加生徒の撮影した映像を素材としてまったく違う映画をスタッフが編集し、合計 2 本の『赤いボールの冒険』ができあがる＞＞

2 日目【ワークショップ】（50 分）
⑥発表会「みんなの作品をつなげて 1 本になった映画をみてみよう」
1）　各チームの作品を再上映し、赤いボールの気持ちがどんな風に映っていたか、他のチームの人たちが感想を言う
2）　作ったチームの人が撮影や編集で工夫したところや赤いボールの気持ちをどのように表現しようとしたのか伝える
3）　プロの編集バージョンをみんなで鑑賞
4）　特別講師（映画監督など）からの講評

⑦記念撮影</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児　童　・生　徒の参加上限人数</td><td>ワークショップ</td><td colspan="2">30～100 名想定</td></tr>
<tr><td>メインプログラム</td><td colspan="2">30～100 名想定</td></tr>
<tr><td>メインプログラムの主たる指導者</td><td colspan="3">別紙「【C 区分_赤いボール】出演者名簿」参照</td></tr>
<tr><td>スタッフ人数
（1 公演あたり）</td><td>上記指導者を含め、17名</td><td>機　材　等
運搬方法</td><td>積載量　　1t 以下
車　長　　4. 265m
台　数　　2台（バン）
※宅配便も使用します</td></tr>
</table>

企画のねらい	**❶主体的な観客を育てる** 映画はつくっただけでは完成しない。人が観て初めて完成する。 だからこそ、時代を超えて人々に愛される映画が名画とされる。同じ映画を観ても、観たときの年齢や状況によって感じ方が違うことがあるのも、映画が各人の脳（心）のなかでその人の経験や記憶を呼び覚ましていくからだろう。 そのように“映画を観ている「私」”を感じ、映画に対して「私なりの考えを持つこと」や「自分なりにその映画をうけとり、自分たちの頭の中で映画を作り出す」ということは普段あまり意識されない。そのような鑑賞は観る側にも鑑賞能力を必要とするからだ。 そこで、国民の多角的な芸術鑑賞能力の向上のためには、このような、映画鑑賞における“主体的な観客”である姿勢をこどものころから大事にし、それを楽しく体験できる機会が必要である。 **❷発想力の育成や芸術鑑賞能力の向上** また、鑑賞のみではなく、鑑賞した映画に関連した映画制作を体験することで、カメラの存在（アングルやサイズ、フィックスなのか手持ち、移動撮影など）や被写体の動き、演技などに気づくことができる。 こうしたこどもたちの発想力の育成や芸術鑑賞能力の向上を目指して本企画を実施する。 **❸名作鑑賞による地域交流** ワークショップ1回目は、不朽の名作であるフランス映画『赤い風船』 を鑑賞する。映画館が街中からなくなっている今、体育館が映画館に変わるということは、地域の大人も含めて体験してもらいたいことである。その鑑賞に『赤い風船』は最適であると考える。ほとんどセリフがないが、小学低学年でもストーリーが理解でき、テーマは信頼や友情、孤独、死といったものまで含まれ、その映像の美しさは大画面ならではのだいご味がある。世界中で愛され、こどもたちは息を飲んでスクリーンを見つめる、とても豊かな映画だ。 **❹映画を深く鑑賞する** 鑑賞後のワークショップでは、『赤い風船』の内容を振り返るゲームをしながら作品を深く理解していき、最後に、現実世界では感情を持たないはずの「風船の気持ち」を想像してもらう。映画のなかで風船はしゃべったりしないのに、風船の気持ちがわかったのは、「あなた」がそう考えた、感じたからであることを伝える（主体的な観客）。 **❺映画ごっこではなく本当のクリエイションを目指す** メインプログラムでは、赤い風船から赤いボールに主人公を変え、生きていないボールを生き生きと映画の中で見せるにはどうしたらいいのかをこどもたちに考えてもらい、実際にそれを iPad で撮影する。いくつかのワークを事前にやることで、こどもたちは自主的にチーム内でコミュニケーションを図り始める。ボールの気持ちをどうしたら表現できるのか、仲間と悩み工夫し、協力し実際に手を動かしながら映画を内側から体験する。最後に自分たちで編集をして各チーム１分以内の映画に仕上げる。 **❻映画づくりには正解がないことを伝える** ２日目に行なわれるワークショップ2回目では、メインプログラムで撮影したものを1本につなげて（こども映画教室のスタッフが前夜に編集する）、それを鑑賞する。他のチームの作品のボールの気持ちを想像し発表し、次に作った側もどんな気持ちを表現しようとしたか、どんな工夫をしたのかを発表する。これによりつくった側とみた側の違いがわかる。そこで答え合わせにならないように、どう受け取ってもいいのだということをしっかりと伝える。映画鑑賞も映画制作もどこにも正解がないこと、自由な解釈ができることを伝える。 最後にプロの編集バージョンを見せることで、さまざまな編集の技を垣間見せる。 プログラム全体を通して伝えていきたいのが、学校の授業と違って、リラックスして自由な

	発想をすることが大切であること。クリエイティブであるためには心を開放し、楽しさを感じながら映画を観たり作ったりしていくことを伝える。 こどもたちは自分なりの映画の観方を自由に発表し、自分たちの手で作り上げた作品を観てもらうことで“主体的に”映画を楽しみ、自分の観たいように観てもいい、作りたいように作っていい、という体験を通して、自己肯定感が育まれることもこの企画のねらいである。

Ａ区分・Ｃ区分共通

№3(メディア芸術)

【公演団体名　こども映画教室】

<table>
<tr><td>実施にあたっての会場条件および学校側が必要な準備等</td><td colspan="2">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">当日の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>【ワークショップ】</td><td>【メインプログラム】</td></tr>
<tr><td>**前日**（準備：1.5～3 時間）
16:00　学校到着
先生方と打ち合わせ
上映会場暗幕設置などの設営
上映リハーサル

1日目
8:45　ワークショップ 1 回目（70 分）
※全体の流れ①～③
9:55　休憩（10 分）
→ **メインプログラムへ**

2日目
12:00 学校到着
機材設置＆試写
スタッフ打ち合わせ
13:00 ワークショップ2回目（50 分）
※全体の流れ⑥～⑩
13:50 終了

~17:00 上映機材搬出</td><td>**1日目（ワークショップ1回目の後）**

10:05 メインプログラム開始（70 分）
※全体の流れ④⑤
11:15 メインプログラム終了

13:50 1日目終了</td></tr>
<tr><td colspan="2">※採択決定後，採択団体へ学校側に提示する条件の確認書の作成をお願いします。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2">特になし</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

【公演団体名　こども映画教室】

令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－」
出演者名簿（予定）

C区分
企画名：「生きていないものが動く！」
みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう！

	出演者	17名
	役職	氏名
1	映画監督	諏訪敦彦 ／ 萩生田宏治
2	プロデューサー	土肥悦子
3	映像制作チーフチームリーダー	深田隆之
4	映像制作チーフチームリーダー	奥定正掌
5	映像制作チーフチームリーダー	大川景子
6	映像制作チーフチームリーダー	飯岡幸子
7	映像制作チーフチームリーダー	今橋貴
8	映像制作チーフチームリーダー	糠塚まりや
9	映像制作チーフチームリーダー	小林和貴
10	映像制作チーフチームリーダー	西原孝至
11	映像制作チーフチームリーダー	萩生田宏治 ／ 上田謙太郎
12	メイキング動画撮影監督	太田達成
13	メイキングスチール撮影監督	中村隆一
14	テクニカルマネージャー	酒井貴史
15	テクニカルマネージャー	御子柴和郎
16	テクニカルマネージャー	山本大輔
17	アシスタントプロデューサー	浅見孟

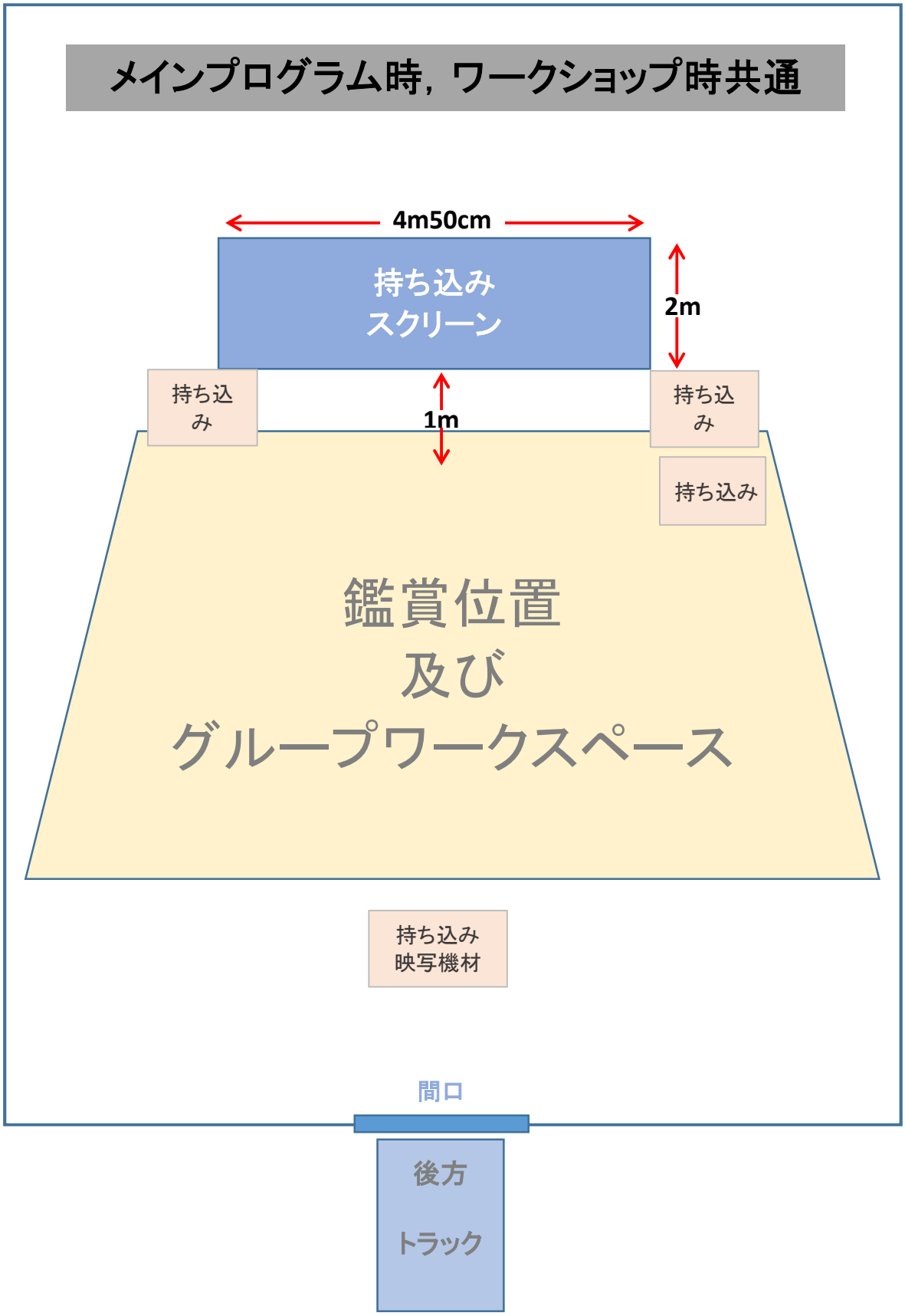
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1402	分野	メディア芸術	種目	映像	ブロック		区分	C区分
公演団体名	こども映画教室				制作団体名	一般社団法人　こども映画教室			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	1室	条件	機材や貴重品を一時保管するため施錠できる教室が望ましいです。スタッフ11人が入れる広さ			
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　2台	乗用車　1台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			バン1台			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要、台車などをご用意いただけましたら横付けの要否相談可			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			100m以内 ※これ以上でも台車等をご用意いただければ相談可			
	可	搬入経路の最低条件			なるべく屋根のある経路希望（相談可）			
		理由						
	―	設置階の制限＊			問わない			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m（相談可）	高さ	2m（相談可）		
WSについて	可	参加可能人数		100名まで（多少の増員は相談可）				
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	小学校3年生以上		
	可	所要時間の目安 単位：分		WS① 70分　WS② 50分（②は人数が多ければ相談ください）				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		30～100名を想定				
	可	舞台設置場所＊		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	4.5m	奥行	2m	高さ	3.7m
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	不要				
	―		舞台袖スペースの条件＊					
	可		緞帳＊	もしあれば使用希望	バトン＊	不要		
	不可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	プロジェクターで映像を投影するため		
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可				
	不可	公演に必要な電源容量		6A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							
	可	照明の準備の都合上、巡回確定後に体育館の天井照明が水銀灯かLEDかをお知らせください						
	可	映画撮影の時に、ロケ地として学校敷地内、学校近隣等を使用希望です。 巡回決定後にご相談させてください。						

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m程度	高さ	2m程度
搬入車両の横づけの要否		要、台車などをご用意いただけましたら横付けの要否相談		
横づけができない場合の搬入可能距離		100m以内 ※これ以上でも台車等を ご用意いただければ相談可		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

実施日程	実施校名	地元主催者

知ってますか?～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

こども映画教室とは…

15年前に始まった「こども映画教室」がめざすのは「こどもと映画のアカルイミライ」。多様な活動を通して、映画という自由で身近な芸術をより多くのこどもに届けます。
こども映画教室が大事にしていることは2つ。 1. 大人は手出し口出ししないこと。 2. 一流の映画人と出会うこと。
大人がこどもを信じ自主性を尊重することでこどもには自尊感情が生まれ、真剣な大人との出会いはこどもを勇気づけ自己肯定感をもたらします。
「映画教育は人間教育」という言葉を胸に、生きづらさを抱えた子や、居場所をもちにくい子にも映画を届けたいと活動しています。これまでに、是枝裕和、諏訪敦彦といった一流の映画監督たちがこの活動に共感し特別講師を引き受けています。

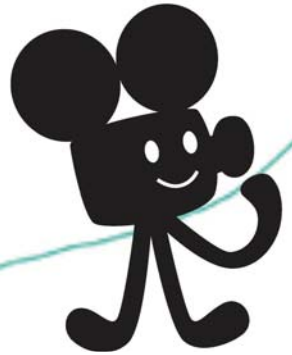
一般社団法人 こども映画教室
〒158-0084 東京都世田谷区東玉川1-32-23
phone & fax : 03-6313-1641
http://www.kodomoeiga.com
info.kodomoeiga@gmail.com
https://www.facebook.com/kodomoeiga/

文化庁

令和元年度
文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

一般社団法人

こども映画教室



映画鑑賞＋ワークショップ公演

「生きてないものが動く！」

みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう！

「文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

映画鑑賞＋ワークショップ

「生きてないものが動く！」

みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう！

プログラム紹介

※プログラムは施設ごとの状況により変更となる場合がございます。

※本公演ではiPadを使用して撮影します

①映画を“観る”

映画『赤い風船』は世界三大映画祭の一つである第9回カンヌ国際映画祭短編映画部門で最高賞のパルム・ドール第29回アカデミー賞脚本賞ほか数多くの賞を受賞した今もなお価値が失われない名作です！！

1950年代のパリを舞台に男の子と風船の友情を描いたこの小さな映画は、世界中で愛されています。この映画に出会えてよかったと思える美しい名作をみんなで鑑賞します。

『赤い風船』（1956年／フランス映画／36分）

監督・脚本：アルベール・ラモリス

おはなし

ある日、街角で赤い風船をみつけた男の子。

なんと風船は手をはなしても、

まるで生きているかのように男の子のあとをついてきます！

②映画について“おしゃべりする”

鑑賞した『赤い風船』について、どんな人が出ていた？

どんな音がした？など、みんなでおしゃべりしながら振り返り、映画について感じたことや考えたことを言葉にします。

③映画を自分たちで“撮る”

チームに分かれ、赤いボールを主人公にした短い映画をiPadで撮影します。

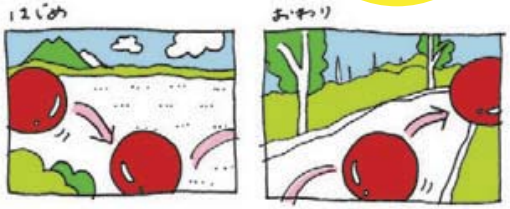
ストーリーも撮り方もみんなで考えます。

ルールはひとつ！

ボールはかならずフレームの外から

入ってきて、最後はフレームからで出ていきます。

おもしろそうな場所を見つけて撮ってみましょう。



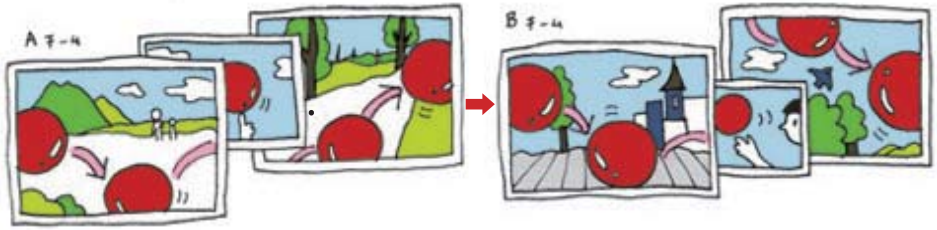
④自分たちの映画を“観る”

それぞれのチームが撮った映画を1本につなげてみると?!

なんとAチームの映画のおわりにフレームの外に飛びだしたボールが

Bチームの映画の中にポンとはいってきて、次にはCチームの映画の中に！！

まるで赤いボールがみんなの知っている場所を冒険していくように見えます！



特別講師プロフィール

諏訪 敦彦（映画監督）

映画監督、大学教授（東京藝術大学）。1997年に公開された『2/デュオ』で長編映画監督デビューの後、1999年公開の監督作品『M/OTHER』で、第52回カンヌ国際映画祭の国際批評家連盟賞を審査員全員一致で受賞。2005年には、全てフランス人キャスト・スタッフによる『不完全なふたり』（日仏合作）がロカルノ国際映画祭において審査員特別賞と国際芸術映画評論連盟賞を受賞。その後もフランスを活動拠点とし、オムニバス映画『パリ・ジュテーム』（2006年）への監督参加、フランス人俳優との共同監督による『ユキとニナ』（2009年）がカンヌ国際映画祭において高い評価を受ける。2018年、8年ぶりの監督作品『ライオンは今夜死ぬ』（2017年）が公開された。最新作は『風の電話』（2020年初春公開予定）

● ワークショップスタッフ

【特別講師】
諏訪 敦彦（映画監督）

【プロデューサー】
土肥 悦子

【ファシリテーター】
深田 隆之　奥定 正掌　今橋 貴
小林 和貴　糠塚 まりや　大川 景子
飯岡 幸子　西原 孝至　上田 謙太郎
太田 達成　中村 隆一

【テクニカルマネージャー】
酒井 貴史

【アシスタントプロデューサー】
浅見 孟